

# いじめ認知・対応フローチャート(案)

資料1



いじめかもしれないが、その他の理由かも知れない  
⇒【見守りと情報共有】

下校時刻が近づくと、表情がさえないくなる	授業中にぼーっとすることがある	休み時間に学級以外の児童と過ごすことが多い	昼食を食べ残すことが増えた	周囲の人の言動に過敏に反応する
----------------------	-----------------	-----------------------	---------------	-----------------



いじめの可能性が大きい  
⇒【事案経過記録】



登下校時、他の子の持ち物を持たされていることがある	持ち物や衣服が不自然に汚れていることがある	授業中におどおどした態度をとることがある	自分を卑下する(自虐的な)言動が見られる	休み時間に1人で過ごすことが多い	教科書等が破れている	登校を渋ることがある
---------------------------	-----------------------	----------------------	----------------------	------------------	------------	------------



いじめ(重大事態)の可能性が大きい  
⇒【第三者委員会】

授業中の発言を周囲に冷やかされる	休み時間に職員室や保健室にいることが多い	靴や持ち物がなくなることもある	顔や身体にあざがある	持ち物等に落書きをされたり、壊されたりすることがある
------------------	----------------------	-----------------	------------	----------------------------

## フローチャートの手引き

3つの段階の『子どもの様子』は例です。1つでも当てはまれば、対応を始めてください。また例にとらわれず先生方の見立ても大切にしながら、見守りや記録を続けてください。

3つの段階の『子どもの様子』は、“いじめ”以外に“虐待等”の可能性もあります。

【見守りと情報共有】は、教職員の些細な会話も含みます。いじめ対策委員会に挙げることも検討しながら、必要に応じて記録も残していきましょう。

【事案経過記録】では、まずいじめ対策委員会へ報告して体制を整えた後、校内でケース会議を行い、その後も事案経過記録を続けてください。

【第三者委員会】は、いじめ対策委員会に関係機関も加えて実施し、早急な今後の支援・指導方針を計画し実行に移してください。

いじめ見逃しゼロ、いじめ重大事態ゼロ  
を目指しましょう。

